

第18期決算公告

2023年6月8日

株式会社日立医薬情報ソリューションズ

当会計年度 (2023年3月31日)					
区分	金額(百万円)		区分	金額(百万円)	
(資産の部)			(負債の部)		
Ⅰ 流動資産			Ⅰ 流動負債		
現金及び預金		43	買掛金		1,477
関係会社預け金		1,088	未払法人税等		52
売掛金		2,525	未払金及び未払費用		223
仕掛品		58	預り金		16
未収入金		31	前受金		56
その他流動資産		120	賞与引当金		411
流動資産合計		3,868	役員賞与引当金		22
			製品保証引当金		237
			リース債務		230
			流動負債合計		2,727
Ⅱ 固定資産			Ⅱ 固定負債		
有形固定資産			退職給付引当金		183
建物附属設備	70		リース債務		476
工具器具備品	17		資産除去債務		94
リース資産	700	787	その他固定負債		50
無形固定資産			固定負債合計		805
ソフトウェア	65		負債合計		3,533
リース資産資産	0		(純資産の部)		
建設仮勘定	10	76	Ⅰ 株主資本		
投資その他の資産			資本金		250
長期前払費用	22		資本剰余金		
差入敷金保証金	198		資本準備金	250	
前払年金費用	111		その他資本剰余金	450	700
繰延税金資産	247	579	利益剰余金		
固定資産合計		1,443	その他利益剰余金	829	
			繰越利益剰余金	829	829
			株主資本合計		1,779
			Ⅱ 評価・換算差額等		-
			Ⅲ 新株予約権		-
			純資産合計		1,779
資産合計		5,312	負債純資産合計		5,312

注) 記載金額は、百万円未満を切捨てて表示しております。

注記

(1) 当期純損益

1 株当たり当期純利益 19,015 円

(2) 重要な会計方針に係る事項に関する注記

1. 棚卸資産の評価基準及び評価方法

仕掛品…個別法による原価法(貸借対照表価額については収益性の低下に基づく簿価切下げの方法)によっております

貯蔵品…最終仕入原価法(貸借対照表価額については収益性の低下に基づく簿価切下げの方法)によっております

2. 固定資産の減価償却の方法

(イ) 有形固定資産(リース資産を除く)

定額法によっております。

(ロ) 無形固定資産

定額法によっております。

なお、自社利用のソフトウェアについては社内における利用期間(5 年)に基づいております。

(ハ) リース資産

リース期間を耐用年数とし、残存価額を零とする定額法を採用しております。

3. 引当金の計上基準

(イ) 賞与引当金…従業員の賞与の支出に備えて支給見込額のうち、当事業年度負担分を計上しております。

(ロ) 退職給付引当金…従業員の退職給付に備えるため、当事業年度末における退職給付債務及び年金資産の見込額に基づき計上しております。

(ハ) 役員賞与引当金…役員の賞与の支給に備えるため、当事業年度における支給見込額を計上しております。

(二) 工事損失引当金…受注案件の損失に備えるため、当事業年度末において損失の発生が見込まれ、かつ、その金額を合理的に見積ることができる受注案件について、翌事業年度に発生が見込まれる損失を計上しております。

4. 収益及び費用の計上基準

「収益認識に関する会計基準」(企業会計基準第 29 号 2020 年 3 月 31 日)及び「収益認識に関する会計基準の適用指針」(企業会計基準適用指針第 30 号 2020 年 3 月 31 日)を適用しております。

当社が主な事業としている情報システムの運用・保守サービス、ソフトウェア開発、システム機器販売・自社パッケージソフトについて、顧客との契約に基づき履行義務を識別しており、それぞれ上記の会計基準等を適用して収益を認識しております。

5. その他計算書類作成のための基本となる重要な事項

(イ) 消費税等の会計処理は、税抜方式となっております。